

工 藝 ニ ュ ー ス 第 7 卷 総 目 次

・ 論 説

頁数		頁数
1.	近代産業工芸確立の黎明期	1
2.	計画経済と工芸	43
3.	頭腦の資源化	85
4.	本所工芸座談会のテーマ	127
5.	傷痍軍人の職業輔導	161
6.	輸出振興と手工芸	203
7.	工芸生産の近代化	245
8.	新らしき道への順應	287
9.	時局下に於ける工芸品製作の目標	329
10.	代用品工業の重要性	375
11.	圖案技術官の責務	376

・ 本 所 研 究 ・ 試 作

1.	金屬の綜合着色法の研究試作	2
	分解式三面鏡化粧卓子の試作	6
	新種解體家具の試作	10
2.	ステンレス・スチール應用工芸品の研究試作	44
	新種解體家具の研究試作・2	48
3.	蝶番の研究・餘録	94
4.	IKS 磁石鋼應用工芸品の試作研究	128
5.	新試作の整理棚・書机	168
	濠洲行漆器「装身具入」と標本製作	172
8.	薄板合成家具試作につき	288
9.	特殊合板の研究	378
	金屬皮膜による代用材の表面處理法	380
	代用漆の研究	382
	ヴァルカナイズド・ファイバー應用試作	383
	竹材の代用的應用研究	384
	ブライウッド應用代用品の研究	385
	代用材の綜合利用の研究	386

・ 調 査 資 料

1.	時局に見る婦人用活動服	22
2.	合成樹脂可塑物の新展開・1	56
	プラスチック材料の一般性狀表	62
3.	合成樹脂可塑物の新展開・2	102
4.	獨逸國主催第一回國際手工業博出品	143
5.	代用金屬に就て・1	176
	獨逸に開かれた日本實用工業品展覽會	175
6.	代用金屬に就て・2	217
	事變下の商品・代用材料模索時代・1	220
7.	代用金屬に就て・3	253
	事變下の商品・代用材料模索時代・2	254
8.	事變下の商品・代用材料模索時代・3	302
9.	事變下の商品・代用材料模索時代・4	344

・ 研 究 資 料

0.	漆風呂の廻轉裝置に就て	342
10.	中空鉄に就て	436

・ 海 外 工 藝 事 情

3.	香 港	86
	シンガポール	88
	コロombo・アデン	91
4.	歐洲航路寄港地瞥見・スエズからナボリへ	130
	フランスの工芸事情	133
5.	アメリカに於ける工芸	162
6.	獨逸に於ける最近の工芸事情	204
	チェコスロバキアに於ける工芸事情	206
	英國に於ける工芸事情	210
7.	獨逸國手工業の奨励と其統制に就て	246
	獨逸に於ける美術及工芸の統制に就て	249
	獨逸・新しい材料と技術應用工芸品	251
	南米亞爾ゼン丁向工芸品に就て	262
8.	維納の工芸	290
	洪牙利の工芸	292
	瑞典の工芸	294
	和蘭の一瞥	297
	白耳義の印象	298
	南米アルゼンチン國の工芸事情	300
9.	英國の工芸	330
11.	フランスに於ける工芸展々觀記	456

・ ラボラトリイ・ファトリイ

1.	戦時統制下輸入材料による加工工業・9	18
2.	新興醋酸纖維素可塑物工業・10	52

・ 工 藝 研 究 座 談 會 記

1.	原料・材料問題を聴く	16
3.	パリ博日本館出品雜感	100
4.	日本萬國博覽會	143
5.	非常時貿易と輸出工芸	182
7.	ベノスアイレスの工芸事情	258
9.	工芸時事相談	369

・ 新 商 品 に 就 て 聴 く

2.	現代に生かす固有美・竹製椅子	27, 50
----	----------------	--------

・ 海 外 ト ビ ッ ク

6.	ロンドン・マース集團展	224
7.	フランス・第五回住宅展	264
8.	新しい「木の時代」・1	306
9.	新しい「木の時代」・2	348

・ 新 し き も の ・ あ れ ・ こ れ

1.	透明樹脂の家具	33
	グリユーのスプレツダー	33
	新反射笠付ランプ	32
	擴散光十方向性	32
	移動可能の小机	32
2.	小冊子自動販賣器	73

品名	頁数
手袋サイズ測定器	73
新果物下し	73
可塑物の帽子	72
剃刀及の箱	72
再利用の問題	72
曲面の測定器	72
3. 調理用小戸棚	115
新型雑穀貯蔵瓶	115
合成樹脂製洋服掛け	115
調理用指手袋	114
日本風な煙草セット	114
編物用の指はめ	114
編物用の手下げ靴	114
4. 青リボン塔	157
盛上る醋酸纖維素	157
硝子の椅子	157
ウォール・ランプ	156
編組ヴェニヤ積層板	156
新ドア・ヒンデ	156
IL M. V. ヒーター	156
5. 練合せ合成樹脂パネル	193
机上フアイル	193
テイラー晴雨計	193
流線型の體重計	192
コンビネーション・クツカー	192
果汁絞り器	192
レター・ケース	192
6. 繪付け硝子器	237
自動式トースター	237
陶器ボタン	237
復活祭の小木工藝品	236
ブラインド掃除具	236
お土産向きの葉	236
モダンな蚊帳	236
7. 機械化された食堂	277
店頭用投光器	277
新型ダボ	277
コンセントにつける寝室燈	276
紫外線電球の新利用	276
家具屋の寸法測定器	276
ミジエツト・マイク	276
8. 編組の新感覚	319
鉛活字代用品	319
ベルベット・シェーヴア	319
便利な計量カップ	318
手洗所石鹸入れ	318
透明な機械模型	318
9. ドイツの可變桌子	361
不銹鋼の進出	361
赤外線による速乾法	360
可塑物の座	360
統一ある室内家具	360
開閉式照明	360

品名	頁数
11. 透明な婦人帽	469
電気剃刀	469
豆モーターの流行	469
流線型列車の内部	468
ラヂオ保射	468
ヒーター・ケース	468
壓搾注入成型法	468

・ 内外パテント・ニュース

2. 変り型蝶番	77
蓋にもなるコーヒー・カツプ皿	76
接觸部がチェーンで懸垂された椅子	76
新らしきケーキ・ターナー	76
スプリング應用休息椅子	76
調理具整理用棚網	76
バンディ・ケース兼ハンドバック	77
照明装置付テーブルメモ器	77
針差し付糸巻	77
傾斜板の固定位置	77
3. 自由に取り外し出来る鍋の取手	118
新しい蕙匠の流し用水道栓	118
変り型安全ピン	118
単位材料より成る椅子及卓子	118
4. 擴張式洋服吊り	160
折疊式螺旋廻し	160
新案描線用ガイド	160
新型パイプ・ホルダー	161
化粧水溶器をもつ櫥	161
新型ゴム製キャツプ	161

・ 輸出入商品意匠資料

1. ティー・エンド、カフェー、ワーマー	24
3. エツグスタンド	106
4. パン 容 器	148
5. 食 卓	184
6. オードブルセット	228
7. コムポート・セット	268
8. 燭 臺	310
9. バター容器	352

・ 圖 録

1. 巴里萬國博覽會圖譜	25
2. 米國モダン・プラスティクス競技會	65
3. 伊國トリエンナーレ展覽會	107
巴里萬國博覽會出品物	110
4. 伊國トリエンナーレ展出品・家具	149
5. 獨逸手工業博覽會日本出品物	185
英米ステンレス新製品展	188
6. 英國マース展覽會	229
工藝展覽會點描	232
7. 齋藤技師蒐集海外工藝品	269
8. 新しい室内裝飾(英國)	311
多岐に亘るプラスチック材料の進出	312
代用材料工藝時代・進出する可塑材料	314

頁数	頁数
鐘紡新作家具展出品物.....	316
9. 海外工藝品・米國均一百貨店の蒐集品.....	353
必要物資代用品展覧會出品・三越.....	356
伊太利の新興家具.....	258
10. 本所研究代用材工藝品試作例.....	371
海外工藝品に選ぶ代用材應用品.....	387
海外工藝品に見る國產代用材の奨励.....	396
11. 輸出展出品・陶磁器.....	459
輸出展出品・漆器.....	460
輸出展出品・木竹及び綜合製品.....	462
輸出展出品・金工品.....	464

・材 料 抄

1. 鯨革、鯨革、鯨革.....	31
2. 再生ゴム・合成ゴム材料.....	71
3. 厚紙、板紙.....	113
4. ステープルファイバー.....	155
5. シルジンプロンズ.....	151
6. 超輕合金マグネシウム合金・1.....	235
7. 超輕合金マグネシウム及其合金・2.....	275
8. 漆代用朱.....	317
9. 竹材合板.....	359
10. 金屬の代用材料.....	400
皮革の代用材料.....	413
天然植物纖維及輸入編組材の代用品.....	430
各種緩衝絶縁接合剤の代用品.....	430

・お國自慢地方工藝

1. 岐阜提灯と燕の煙管.....	34
2. 産業児童軍裝被.....	74
3. 巧緻妙藝被.....	116
4. 染織界新舊發明くらべ.....	158
5. 佛界主従大小明朗くらべ.....	194
7. 變り種工藝物産被.....	278
8. 硝子工業.....	320
9. 岩手縣の特殊工藝と栃木縣の瓢箪工.....	362

・内外工藝産業情報・貿易

1. 出超一千八百萬圓！下旬貿易引續き順調.....	37
爲替管理の下に新貿易振興政策確立.....	38
工藝品の輸出振興に中央の統一機關設置.....	38
南洋各地に領事館新設.....	38
外國名標記偽用陶磁器輸出禁止.....	38
戦時産業對策は輸出振興を基本に.....	39
2. 琉球漆器の進出急.....	78
輸出木製スプーンの近況.....	78
輸出入品の臨時措置法更に徹底的に.....	80
輸入爲替許可限度百圓に引下げらる.....	80
民需資材の輸入を許可昨年末に.....	81
輸入制限品目愈々近く追加.....	81
北支貿易特權機關濫設を防止.....	81
中小工業製品の高級化.....	81
3. 十二年中に於ける貿易總計.....	120
本年度國際收支調整の原案成る.....	120

北支本邦品輸入計畫.....	121
北支に進出せんとする東京市.....	121
大阪の非常時貿易及海外競争品見本.....	121
海外に賣行く競争物玩具.....	122
4. 英國に於けるセルロイド玩具輸入税改正.....	163
佛領チユニス輸入外國品の原產地標記.....	164
佛國に於ける本年度前四半期本邦品輸入.....	164
印度支那に於ける電氣器具用陶磁器.....	164
日佛通商協定.....	164
貿易局・大阪事務局の臨時輸出入許可.....	165
輸出助長政策に邁進.....	165
7. 貿易局の諮問に對する答申案.....	281
輸出振興方策は商品別に樹立するか.....	281
11. 商工省の輸出雜貨振興策・品質向上へ.....	473

・内外工藝産業情報・海外

1. 日本文化の海外認識に寄與貢獻.....	37
3. 全資源の人造化に獨逸工業界は邁進.....	119
南洋市場の趣味嗜好は.....	119
意想外深刻な米國の日貨排斥.....	120
4. 米國に於ける湯殿臺所用品の色彩標準化.....	162
米國に於ける本邦品非買運動.....	163
米國南部地方に於ける日貨排斥運動.....	163
日本工藝の粹を友邦獨逸に誘示.....	163
5. 布哇に於ける日本家具輸入問題.....	197
本邦輸出護照風船に關する注意.....	197
智利向本邦綿布に對する注意.....	197
比島陶磁器皿に現はれた新嗜好.....	197
6. 獨逸の魚皮類加工業.....	241
日本製金物上海市場に進出.....	242
8. 白領コンゴに於ける磁器引臺所用器具.....	326
亞爾然丁國アンチダンピング法制定か.....	326
9. 米國家具界の新傾向.....	367
智利市場に於ける雜貨類進出の能否.....	367
11. 佛國輸入關稅改正.....	472

・内外工藝産業情報・代用材

3. 商工省・代用品の製造工業助成.....	122
4. 金屬製品に代る陶磁器.....	166
5. 國產松脂増産の急務.....	196
陶磁器素地に金屬鍍金を奨励.....	200
6. 金屬代用資源にセルロイド進出を計る.....	241
7. 富山縣工試で漆の下塗代用品を考究.....	285
8. 官民各界に起つた代用材料研究熱.....	326
海蛇も代用皮革に静岡縣で研究中.....	326
越中特産和紙で皮革代用を研究.....	327
鹿兒島特産竹製品の發展指針.....	327
9. 被代用材料別に組合結成.....	366
代用材料品の材質性能を試験證明.....	366
パルプ製草履の研究・川越工指で指導.....	367
11. 富山縣製紙試験所紙應代用品を研究.....	473
雜草くらを麻代用に・青森工試の研究.....	473
擬革の製造に日室の新計畫.....	474
代用品研究に補助金交付.....	474

総目次

代用品工業普及事業に着手……………474

・内外工業産業情報統制物資

1. 白金物の配給統制愈々實施……………	39
2. 計畫的戰時經濟愈々本年度から……………	79
國策代行經濟團體設置に向つて進出……………	79
軍需工業の擴大充實と……………	80
消費制限愈々白金にも……………	30
3. 硝子製品の單純化……………	122
國防工業を樞軸に産業界は再編成か……………	122
國力充實四ヶ年計畫産業經濟の根本調整……………	123
7. 東西アルミ仲板業者全國單一工組設立へ……………	281
8. 皮革使用制限實施さる……………	322
百三十餘品種に亘り銅の使用禁止さる……………	322
ゴム使用の禁制……………	323
鉛・亜鉛・錫等の使用制限令發布さる……………	323
銑鐵の使用制限強化さる……………	324
9. 銅使用制限規則さらに強化……………	364
近く金の使用制限強化……………	366
商品の單純化規格統一に法的強制の方針……………	366
11. 企畫院の統合下に科學部新設……………	475
特殊工組制度を商工省計畫……………	475

・内外工業産業情報・展・博覧會

1. ドイツ工業資源の獨立自給を目指す……………	36
非常時國產愛用廢品更生展覽會……………	40
三越新設計畫室内裝飾展……………	40
2. パリ博再開と決す……………	78
一九四一年ローマ萬國博計畫進捗……………	78
二月にカナダで商品展開催決定……………	81
日本紹介の豪華プラン……………	82
3. 商工展會社に延期決定……………	122
4. 國產代用品工業展……………	166
白木屋洋家具小品展……………	166
5. 東海四縣聯合輸出工藝試作品展開かる……………	198
九州沖繩聯合輸出工藝品展開かる……………	200
6. 貿易局輸出品包裝展覽會開催……………	240
日本萬國博覽會建築計畫進捗……………	240
工藝關係展覽會情況……………	240
7. 商工省輸出工藝展覽規約……………	280
昭和十三年輸出工藝展覽會審査委員決定……………	281
商工展會期延期……………	285
8. 今秋開く商工省主催代用品振興展……………	324
9. 舊套依然・世界の工藝品なし……………	368
輸出展出品物材料難より解放……………	368

・内外工業産業情報・地方

1. 變轉の世相に對處！商工相談所時代来る……………	40
廣島工藝指導所年度内に實現か……………	40
大理石工藝研究所山口工試内に新設……………	40
2. 輸出向曲木家具とベニヤ製茶碗……………	82
臺灣新竹州に工藝指導所パナマ編組等に……………	82
3. 輸入制限の暴風……………	123
金使用制限の波紋……………	124

総目次

金澤漆器事變に救はる……………	124
滿洲工藝協會本年度事業計畫……………	124
苦難下の箱根物產……………	124
指導機關の擴充……………	124
4. 木材の需給と植林の急務策……………	165
漆器の大陸進出……………	166
5. 桐材の需要と桐苗の相場……………	196
工藝王國の誇り石川縣立工藝指導所竣工……………	198
陶磁の中間試驗工場建設……………	198
輪島漆器非常時對策……………	198
酒田輸出工藝品組合設立……………	199
陶磁器にも國防色……………	199
山中漆器工業組合新設へ……………	199
漆器の産地が北秋田に誕生……………	199
陶磁器型を基本的に研究……………	199
山形特産黒柿細工を海外へ……………	199
釜山の珐瑯鐵器と貝殻に大量注文来る……………	200
6. 大分縣工藝指導所別府に開設……………	242
名陶輪組の輸出不振對策……………	242
天津で石川縣工藝品即賣會……………	242
7. 秋田縣戰傷兵の工藝技術養成場設置……………	285
新潟縣の銅器と洋食器軍需製作へ進出……………	285
8. 戰時下の工藝大阪工獎の方針決る……………	327
事變下に對處する石川縣……………	327
9. 戰時工藝への前進大阪工獎工藝部で提唱……………	368

・内外工業産業情報・其他

1. 本所第2部長齋藤技師歐米州視の途に……………	36
大阪の松田禾堂氏も同じく米國向け出發……………	36
東京商品意匠應募作品成績發表……………	40
2. 本所齋藤技師の通信……………	78
工藝技術官協會結成せられるか？……………	82
4. よき參考意見續出本所主催の座談會……………	162
皇太子殿下に鯉の置物を献上……………	162
軍需工業轉換策……………	165
5. 木、漆、金工關係技術官會議開催決定……………	196
本格化された中小工業救済……………	196
6. 商工省分課規程改正……………	233
陶磁器關係技術官會議開催かる……………	233
7. 工藝聯合會主催プエノス工藝事情講演會……………	281
中小工場も總動員し軍需生産擴張を計畫……………	284
科學專管機關と工藝化研究所の設置……………	284
東北興業會社の依頼により優勝祈試作……………	285

其 他

6. 商工省主催木漆金工關係官會議開催かる……………	214
11. 貿易局輸出品工藝展覽概況……………	440
輸出展出品物鑑査概評……………	442
地方別府縣聯合工藝展開かる……………	448
陶案關係技術官會議抄録……………	454
商工省主催代用品振興展覽會記……………	465